

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第30週の発生動向

トピックス

・**手足口病** (小児科定点把握の対象となる疾患) の定点当たりの報告数は 14.5 で、現行の感染症法となった平成 11 年(1999 年)以降 2008 年第 25 週(定点当たりの報告数 14.9)に次いで 2 番目に多い。詳細後述。

全数報告の感染症 (30 週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 4 例。3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 2 例。
- 4 類感染症：レジオネラ症 1 例。
- 5 類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌感染症 1 例、後天性免疫不全症候群 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型、病名	症状等
2類	結核	延岡	30 歳代	男	無症状病原体保有者	—
			30 歳代	女	結核性胸膜炎	発熱、胸痛
			80 歳代	女	肺結核	咳、痰、発熱、呼吸困難
		高鍋	80 歳代	女	無症状病原体保有者	—
3類	腸管出血性大腸菌感染症	小林	60 歳代	女	—	腹痛、水様性下痢、血便、O157(VT1,2産生)
		高鍋	20 歳代	女	—	症状なし、O115(VT1産生)
4類	レジオネラ症	宮崎市	60 歳代	男	肺炎型	発熱、呼吸困難、意識障害、肺炎、多臓器不全
5類	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	宮崎市	60 歳代	男	—	敗血症 菌種名(<i>Enterobacter aerogenes</i>)
	後天性免疫不全症候群	延岡	30 歳代	男	無症候性キャリア	—

《前週との比較》

定点把握の対象となる 5 類感染症

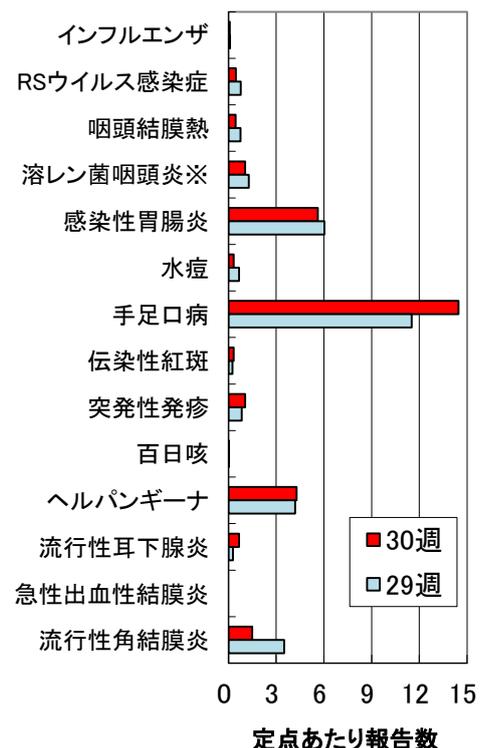
・定点医療機関からの報告総数 1,050 人 (定点当たり 30.5) で、前週比 99%とほぼ横ばいであった。前週に比べ増加した主な疾患は手足口病と流行性耳下腺炎で、減少した主な疾患は咽頭結膜熱と水痘であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

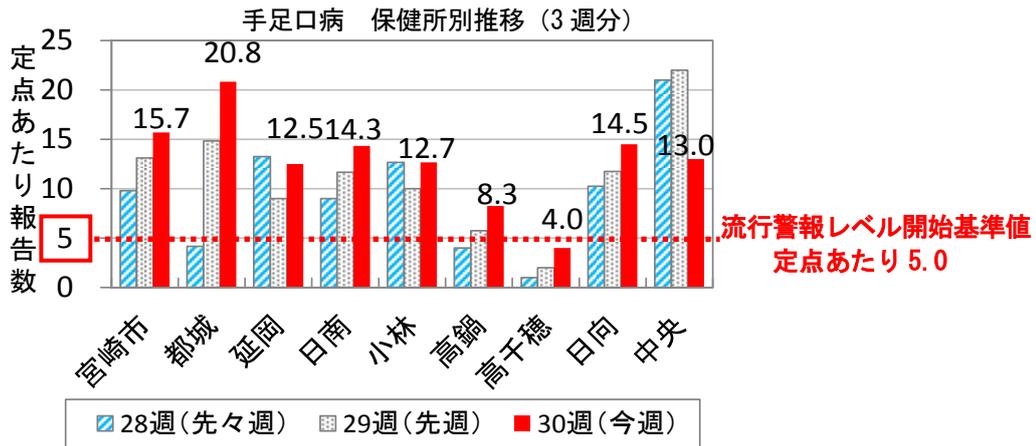
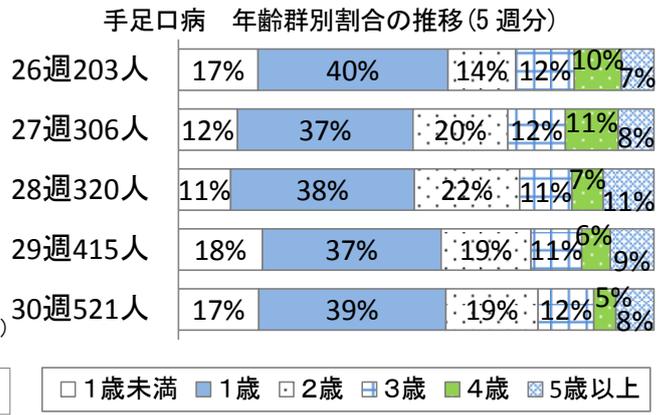
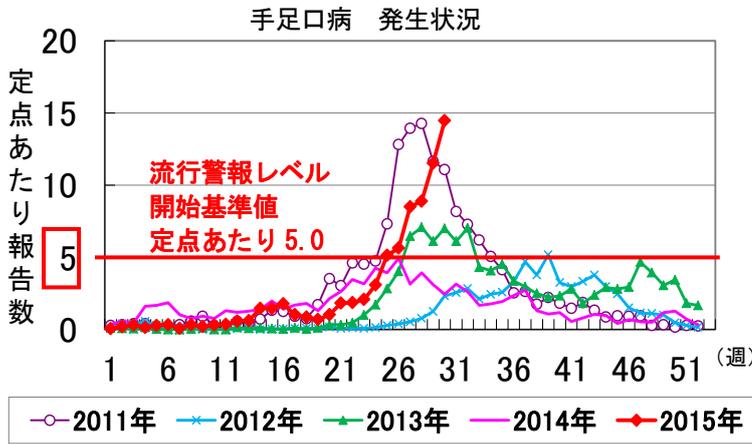
【手足口病】

・報告数は 521 人 (14.5) で、前週比 126%と大幅に増加した。流行警報レベル開始基準値 (5.0) を 6 週連続で超過した。例年同時期の定点当たり平均値* (5.2) の約 2.8 倍と多い。都城 (20.8)、宮崎市 (15.7)、日向 (14.5) 保健所からの報告が多く、年齢別は 1~2 歳が全体の約 6 割を占めた。

*過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均値。

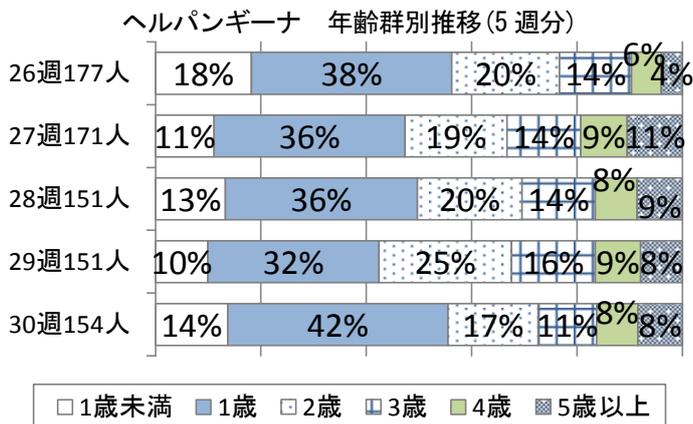
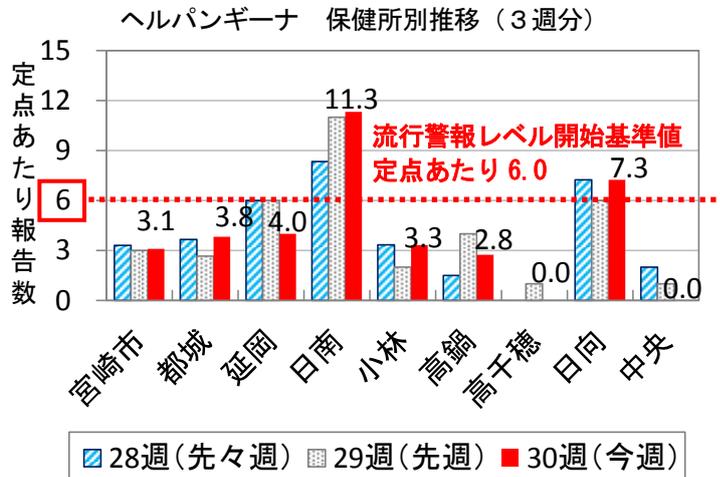
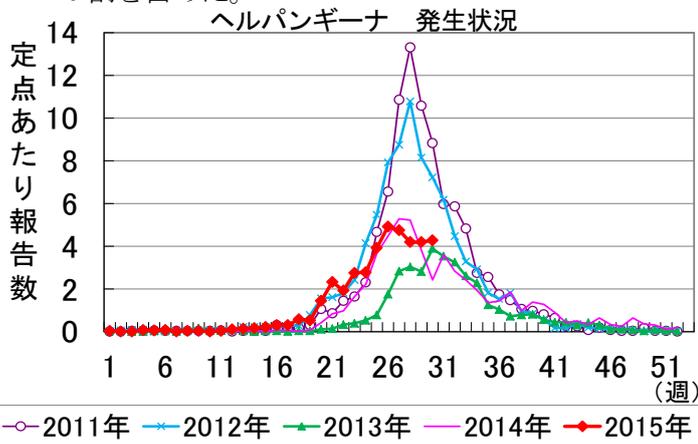


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



【ヘルパンギーナ】

・報告数は154人(4.3)で、前週比102%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定ポイントあたり平均値*(4.9)の約0.9倍であった。日南(11.3)、日向(7.3)保健所からの報告が多く、年齢別では1~2歳が全体の約6割を占めた。



★基幹定点からの報告★

○感染性胃腸炎（ロタウイルス）：日向保健所管内で1例報告された。1～4歳で、病原体の群別不明。

★流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	手足口病(15.7)
都城	手足口病(20.8)
延岡	手足口病(12.5)
日南	手足口病(14.3)、ヘルパンギーナ(11.3)
小林	手足口病(12.7)、流行性耳下腺炎(5.7)
高鍋	手足口病(8.3)
高千穂	なし
日向	手足口病(14.5)、ヘルパンギーナ(7.3)
中央	手足口病(13.0)

流行警報レベル開始基準値

・手足口病(5.0)

・ヘルパンギーナ(6.0)

流行注意報レベル基準値

・流行性耳下腺炎(3.0)

□ 病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 平成27年7月27日までに検出）

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取月日	臨床症状 等	検出材料	検出日
コクサッキーウイルスA6型	0～4歳	男	2015.6.17	手足口病、39.0℃	咽頭ぬぐい液	2015.7.24
コクサッキーウイルスA9型	0～4歳	男	2015.6.9	エンテロウイルス感染症、37.5℃、発疹	咽頭ぬぐい液	2015.7.15
コクサッキーウイルスA9型	0～4歳	男	2015.6.10	エンテロウイルス感染症、37.5℃、発疹	咽頭ぬぐい液	2015.7.15
コクサッキーウイルスA9型	0～4歳	男	2015.6.18	エンテロウイルス感染症、37.5℃、発疹	咽頭ぬぐい液	2015.7.24
コクサッキーウイルスA9型	0～4歳	男	2015.6.15	不明発疹症、紅斑	咽頭ぬぐい液	2015.7.24
コクサッキーウイルスA10型	0～4歳	男	2015.5.22	感染性胃腸炎、下痢	便	2015.7.24
コクサッキーウイルスA10型	0～4歳	男	2015.6.13	ヘルペス口内炎、39.4℃、上気道炎	咽頭ぬぐい液	2015.7.15
コクサッキーウイルスA16型	5～9歳	男	2015.6.10	手足口病、口内炎、発疹	咽頭ぬぐい液	2015.7.15
コクサッキーウイルスA16型	0～4歳	女	2015.6.17	手足口病、39.2℃	咽頭ぬぐい液	2015.7.24

○手足口病疑いの幼児1名からコクサッキーウイルスA6型(CA6)、幼児2名からCA16が分離された。

○エンテロウイルス疑いの乳幼児3名と不明発疹症の乳児1名からCA9が分離された。

○感染性胃腸炎の乳児1名とヘルペス口内炎の幼児1名からCA10が分離された。今年に入り現在までに当所で手足口病疑い検体を検査したところ、CA16が4件、CA6が2件、CA10が1件分離、検出されている。また、手足口病の他に不明発疹症の検体も増加しており、原因ウイルスとしてはCA9が最も多く分離、検出されている。6月以降、手足口病疑い検体および不明発疹症の検体は増加しており、ウイルスが同定され次第結果を掲載していく予定である。

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状 等	検出材料	同定日
<i>Staphylococcus aureus</i> エンテロトキシンC型 TSST-1(+)	70歳代	女	2015.7.7	TSS、肺炎、出血傾向、低血圧、循環不全、乏尿、腎不全	便	2015.7.21
気管内採痰						
カテーテル尿						
<i>Salmonella</i> Bareilly(O7:y:1,5)	20歳代	女	2015.7.15	—	便	2015.7.22

肺炎、出血傾向、低血圧、循環不全、腎不全などを呈した70代後半女性の便・気管内採痰・カテーテル尿からMRSAが検出され、エンテロトキシンC型TSST-1遺伝子陽性であった。市中感染型のMRSAは、院内感染型のMRSAとは患者の年齢や臨床像が異なる場合があり、強毒株による食中毒事例や死亡事例も報告されている。

🇯🇵 全国第 29 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 29 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	348 例				
3類感染症	細菌性赤痢	4 例	腸管出血性大腸菌感染症	123 例		
4類感染症	E 型肝炎	2 例	A 型肝炎	3 例	重症熱性血小板減少症候群	2 例
	デング熱	4 例	日本紅斑熱	8 例	レジオネラ症	54 例
5類感染症	アメーバ赤痢	11 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	23 例
	急性脳炎	3 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	4 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2 例
	後天性免疫不全症候群	11 例	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	15 例	水痘（入院例）	7 例	梅毒	33 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	風しん	1 例	麻しん	1 例

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 110%と増加した。前週と比較して増加した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナで、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎であった。

手足口病の報告数は 31,920 人(10.2)で前週比 137%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値* (4.6) の約 2.2 倍と多い。福井県(23.3)、埼玉県(20.5)、栃木県(17.9)からの報告が多く、年齢別では 1~2 歳が全体の約半数を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は 10,494 人(3.3)で前週比 126%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値* (4.2) の約 0.8 倍と少ない。三重県(11.8)、佐賀県(8.2)、大分県(7.7)からの報告が多く、年齢別では 1~3 歳が全体の約 6 割を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2015年 第30週(7月20日～7月26日)

疾病名		第29週	第30週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	6	5		1			1			3	
	定点あたり	0.10	0.08	0.00	0.10	0.00	0.00	0.20	0.00	0.00	0.50	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	28	17	9	3			3			2	
	定点あたり	0.78	0.47	0.90	0.50	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.50	0.00
咽頭結膜熱	報告数	27	16	3	2	5	2		1		3	
	定点あたり	0.75	0.44	0.30	0.33	1.25	0.67	0.00	0.25	0.00	0.75	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	46	38	6	8	14	2	1	2		5	
	定点あたり	1.28	1.06	0.60	1.33	3.50	0.67	0.33	0.50	0.00	1.25	0.00
感染性胃腸炎	報告数	217	202	39	57	1	24	34	11	2	28	6
	定点あたり	6.03	5.61	3.90	9.50	0.25	8.00	11.33	2.75	2.00	7.00	6.00
水痘	報告数	24	12	5	2	4		1				
	定点あたり	0.67	0.33	0.50	0.33	1.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	415	521	157	125	50	43	38	33	4	58	13
	定点あたり	11.53	14.47	15.70	20.83	12.50	14.33	12.67	8.25	4.00	14.50	13.00
伝染性紅斑	報告数	9	12	3	1	2	4	1			1	
	定点あたり	0.25	0.33	0.30	0.17	0.50	1.33	0.33	0.00	0.00	0.25	0.00
突発性発しん	報告数	30	38	18	5	3	2	2	3		4	1
	定点あたり	0.83	1.06	1.80	0.83	0.75	0.67	0.67	0.75	0.00	1.00	1.00
百日咳	報告数	1	1	1								
	定点あたり	0.03	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	151	154	31	23	16	34	10	11		29	
	定点あたり	4.19	4.28	3.10	3.83	4.00	11.33	3.33	2.75	0.00	7.25	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	10	24	2	1	2		17			1	1
	定点あたり	0.28	0.67	0.20	0.17	0.50	0.00	5.67	0.00	0.00	0.25	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	21	9	2	2	5						
	定点あたり	3.50	1.50	0.67	1.00	5.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	2	1								1	
	定点あたり	0.29	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		1.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2015年第1週～30週)

2類感染症	結核	125例(4)					
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	12例(2)					
4類感染症	A型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	4例	つつが虫病	3例	
	日本紅斑熱	5例	マラリア	1例	レジオネラ症	3例(1)	
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	5例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	2例(1)	
	急性脳炎	3例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例	
	後天性免疫不全症候群	12例(1)	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	3例	
	水痘(入院例)	1例	梅毒	4例	播種性クリプトコックス症	2例	
	破傷風	5例					

()内は今週届出分、再掲